注１　在宅の利用者であって通院又は通所が困難なものに対して、次に掲げるいずれの基準にも適合する指定居宅療養管理指導事業所の歯科衛生士、保健師又は看護職員（以下「歯科衛生士等」という。）が、当該利用者に対して訪問歯科診療を行った歯科医師の指示に基づき、当該利用者を訪問し、実地指導を行った場合に、単一建物居住者（当該利用者が居住する建物に居住する者のうち、当該指定居宅療養管理指導事業所の歯科衛生士等が、同一月に指定居宅療養管理指導を行っているものをいう。）の人数に従い、１月に４回を限度として、所定単位数を算定する。	注　⑴については在宅の利用者（当該利用者と同一建物に居住する他の利用者に対して指定居宅療養管理指導事業所の歯科衛生士が同一日に指定居宅療養管理指導を行う場合の当該利用者（以下この注において「同一建物居住者」という。）を除く。）であって通院又は通所が困難なものに対して、⑵については在宅の利用者（同一建物居住者に限る。）であって通院又は通所が困難なものに対して、次に掲げるいずれの基準にも適合する当該指定居宅療養管理指導事業所の歯科衛生士、保健師又は看護職員が、当該利用者に対して訪問歯科診療を行った歯科医師の指示に基づき、当該利用者を訪問し、実地指導を行った場合に、１月に４回を限度として算定する。
イ～ハ　（略）	イ～ハ　（略）
２　別に厚生労働大臣が定める地域に所在する指定居宅療養管理指導事業所の歯科衛生士等が指定居宅療養管理指導を行った場合は、特別地域居宅療養管理指導加算として、１回につき所定単位数の100分の15に相当する単位数を所定単位数に加算する。	（新設）
３　別に厚生労働大臣が定める地域に所在し、かつ、別に厚生労働大臣が定める施設基準に適合する指定居宅療養管理指導事業所の歯科衛生士等が指定居宅療養管理指導を行った場合は、１回につき所定単位数の100分の10に相当する単位数を所定単位数に加算する。	（新設）
４　指定居宅療養管理指導事業所の歯科衛生士等が、別に厚生労働大臣が定める地域に居住している利用者に対して、通常の事業の実施地域（指定居宅サービス基準第90条第５号に規定する通常の事業の実施地域をいう。）を越えて、指定居宅療養管理指導を行った場合は、１回につき所定単位数の100分の５に相当する単位数を所定単位数に加算する。	（新設）
ヘ　（略）	ヘ　（略）
6　通所介護費	6　通所介護費
イ　通常規模型通所介護費	イ　通常規模型通所介護費
⑴　所要時間３時間以上４時間未満の場合	⑴　所要時間３時間以上５時間未満の場合
㈠　要介護１　362単位	㈠　要介護１　380単位
㈡　要介護２　415単位	㈡　要介護２　436単位
㈢　要介護３　470単位	㈢　要介護３　493単位
㈣　要介護４　522単位	㈣　要介護４　548単位
㈤　要介護５　576単位	㈤　要介護５　605単位
⑵　所要時間４時間以上５時間未満の場合	（新設）
㈠　要介護１　380単位	
㈡　要介護２　436単位	
㈢　要介護３　493単位	
㈣　要介護４　548単位	
㈤　要介護５　605単位	
⑶　所要時間５時間以上６時間未満の場合	⑵　所要時間５時間以上７時間未満の場合
㈠　要介護１　558単位	㈠　要介護１　572単位
㈡　要介護２　660単位	㈡　要介護２　676単位
㈢　要介護３　761単位	㈢　要介護３　780単位
㈣　要介護４　863単位	㈣　要介護４　884単位
㈤　要介護５　964単位	㈤　要介護５　988単位